

### (3) 最重要プロジェクト【県産品販路拡大・海外展開支援プロジェクト】

区分	H26	H27	H28
新製品等開発、異業種参入	(1) 新分野に挑戦する県内中小企業の新製品開発、販路開拓等への助成		
県産品の大幅な販路拡大	(2) 県産品販路拡大支援の強化 ① アクティブG(岐阜駅)に県産品販売・情報発信拠点「清流の国ぎふギャラリー(仮称)」を開設		・県産品の卸売機能の付加
	② 県産品ビジネス支援センター(仮称)構想の策定・センター開設準備 ③ 大規模見本市への出展 ・「rooms」出展支援 ④ 大都市圏(東京、大阪、名古屋)テストマーケティング ⑤ 新商品デザイン開発支援 ⑥ フードビジネス拡大支援 ・「FOODEX JAPAN」「食の商談会」出展支援	<b>【県産品ビジネス支援センター(仮称)の設置(BtoC部門の機能強化)】</b> <b>・アクティブGにおける県産品ビジネス支援のワンストップサービス化</b> <b>・「モノづくり」「販路開拓」「企業・産地ブランディング」の専門支援機関</b> <b>・県産品ビジネス支援の専門家の配置・育成による継続支援体制の確立</b>  ◎組織：県、金融機関等が出資する株式会社(第三セクター) ◎人員体制：県、金融機関からの派遣と専門人材(約15名)で構成 ◎設置場所：JR岐阜駅周辺(ビジネス支援機能を岐阜駅周辺に集結)	
中小企業による積極的な海外展開	(3) 中小企業の海外展開支援の強化 ① 海外主要10都市でのGAS(グローバル・アンテナ・ショップ)ネットワーク構築 ・(H26)ジャカルタ、ニューヨーク、香港、サンフランシスコ、パリ (H27)上海、台北、フェリッピ、バンコク ・海外現地デザイナーとの連携商品開発 ② 海外展示会への出展助成	<b>【国内事業】</b> ■商品開発・販路開拓支援(県のビジネス支援リソースをセンターへ継承・発展) ■有力見本市の岐阜県への誘致 ■複数産地・企業による共同開発・市場開拓支援(和食文化と合わせた展開等) ■企業間ネットワークの構築促進 ■県産品物流システム構築  <b>【海外事業】</b> ■GASにおける常設販売コーナーの設置 ■海外ディストリビューターとの連携支援 ■海外現地デザイナーと開発したオリジナル商品販売 ■海外バイヤーやメディアとのネットワーク構築 ■メゾン・エ・オブジェ・アジア(シンガポール)への岐阜県ブース出展 ■海外向け情報発信・商品仲介HPの整備 ■物流企業と連携した海外への小口輸送体制の構築	
ネットショップ支援	(4) ネットショップ支援の強化 ・ソフトピアジャパン内に専門スタッフを配置した支援センターを開設		